

**越冬前茎数は目標内(600~800本/m<sup>2</sup>)となっています。**ほ場の排水対策を実施して、茎数を維持できるように努めてください。分施栽培では、消雪を確認したら速やかに追肥を行いましょう。

## 1 排水対策

これから茎と根の伸長期となり、排水の悪いほ場では湿害により生育量が不足し、収量の減少につながります。しっかりと排水対策を行いましょう。

消雪後は直ちに排水溝の連結を手直しして排水を促し、収穫期まで雨水等が停滞しないようにしましょう。

表 越冬前生育調査結果(12/15)

	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 SPAD値
R8年産	26.0	663	38.4
平年	31.1	703	38.1

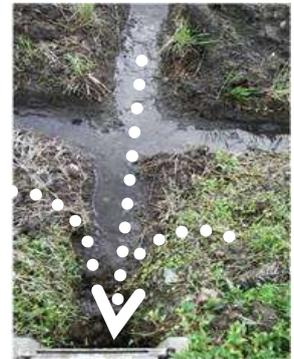
福光管内 3ほ場



枕地や排水口周辺の排水溝をしっかりと連結する。

### 消雪直後のほ場

溝に水がたまると根張りが悪くなる



排水口を深く掘り下げ、排水口へつなげる。

## 2 消雪後追肥(分施体系)

基肥に「基肥555」を使用している場合は、茎数や穂数を確保するため、消雪後速やかに追肥を施用しましょう。

肥料効率を高めるため、排水を良くし、ほ場に停滞水がない状況で施用しましょう。

施用時期	茎数	硫安の施用量
ほ場全体の消雪を確認後、直ちに	少~並	20kg/10a
	多*	15kg/10a

\*茎数多：麦が繁茂し、土が見えないようなほ場 (m<sup>2</sup>当たり1,200本以上)

※基肥にJコート大麦48号を使用している場合は、原則追肥の必要はありません。

(葉色が淡い等追肥が必要な場合はお知らせします。)